

1 監督会議

- ・各学部 1 名出席する。監督会議にて出場者確認と欠席届回収を行うため、これを受付に代える。

2 競技細則

◆アキュラシー種目◆

(1) 区分

「小」「中」「高」の 3 区分とし、障害種によるクラス分け、性別によるクラス分けはしない。

(2) 競技種目

- ① ディスリート・スリー：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を 3 m とする。
- ② ディスリート・ファイブ：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を 5 m とする。

(3) 競技方法

- ① 試技は 10 投連続して行う。
- ② 投げ方は自由とする。
- ③ 競技上有利となる用具の使用は認めない。
- ④ プレーヤーが視覚障害者の場合は競技役員がアキュラシーゴール後方 3 m の距離から電子音によってアキュラシーゴールの中心部の位置を知らせることができる。
- ⑤ 試技の時間は、プレーヤーが 1 投目のディスクを受け取ってから 5 分とする。5 分を超えた試技は無効とする。

(4) 得点

得点は、ディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。逆方向から通過した場合は得点とならない。

(5) 順位の決定

- ① 順位は得点の多さで決定する。
- ② 同得点の場合は、第 1 得点を先に挙げた者を上位とする。第 1 得点と同じ場合は、順次、得点を先に挙げた者を上位とする。
- ③ ②の方法によって 1 位、2 位、3 位が決定しない場合は、1 セット（3 投）の再投（追加試技）を行い得点の多さで順位を決定する。ただし、4 位以下の者で同得点の場合は、再投は行わず、同順位とする。
- ④ ③の方法によって再投を行った結果、同得点となり 1 位、2 位、3 位が決定しない場合は②の方法によって順位を決定する。
- ⑤ 再投は 3 位が決定するまで、最大 5 セットまで行う。
- ⑥ ⑤の方法によっても順位が決定しない場合は、同順位とする。

(6) 反則

- ・試技中に身体の一部や補装具（椅子等を含む）がスローイングラインのプレーヤー側の側面以外に触れたとき。またはスローイングラインを踏み越えたとき。
 - ・ただし、フットレストがスローイングラインの上方空間に出ることは反則としない。
- 反則のあった試技は 1 投の試技とみなすが、得点は無効とする。

◆ディスタンス種目◆

(1) 区分

- ・座位女子（レディース・シッティング） ・立位女子（レディース・スタンディング）
- ・座位男子（メンズ・シッティング） ・立位男子（メンズ・スタンディング）

(2) 競技方法

- ① プレイヤーは競技エリア内で試技しなければならない。
- ② プレイヤーは試技の前に1投の練習をしなければならない。練習用ディスクは競技用と同規格のもので色は黄色とする。
- ③ 競技は3投連続して行う。
- ④ 投げられたディスクの有効範囲は、競技フィールド前方180°とする。
- ⑤ 距離の計測は、スローイングライン計測点から、ディスクが最初に触れた地点までとする。
- ⑥ 投げ方は自由とする。
- ⑦ 競技上有利となる用具の使用は認めない。
- ⑧ 試技の時間は、プレイヤーが1投目のディスクを受け取ってから3分とする。3分を越えた試技は無効とする。
- ⑨ 座位で競技をする場合のシートの高さはクッションを含め、75cm以下とする。

(3) 記録

- ① 記録は3投の試技で最も距離の遠い着地点を計測する。
- ② 計測はcm単位とし、1cm未満は切り捨てる。

(4) 順位の決定

同順位の場合、1位、2位、3位は1投の再投（追加試技）により決定する。再投は順位が決定するまで行う。4位以下のものが同順位の場合は、再投は行わず、同順位とする。再投の記録は公式記録としない。

(5) 反則

- ① スローイングエリア内から助走したとき
- ② その他のスローイングに関する反則は、アキュラシーと同様に扱うものとする。

3 介助等について

- ・プレーヤーの状況により、グラウンド入口からサイト後ろテントまでの移動、各サイトの周辺での見守り確認が必要な場合は、各エントリー表の備考欄に「介助」と明記する。
- ・介助者は、スローイングエリアに立ち入ることはできない。同時にプレーヤーへの指示や技術的な指導、競技上有利になるようなアドバイスはすることができない。
- ・プレーヤーが視覚障害者の場合、競技状況を知らせるための介助者をスローイングエリアに1名同行することができる。アキュラシーの場合、介助者が伝えられるのは投げる方向、通過・不通過の状況だけで技術的な助言等は行ってはならない。度重なる介助者の違反については退場を命じられることがある。
- ・その他、介助者は各サイトの審判に従う。

4 欠席者について

- ・事前に欠席が分かっている場合は、欠席届にて専門委員長に届け出る。
- ・当日の欠席は、本部前に設置してある欠席届に記入して監督会議前に本部に届け出る。
- ・欠席届はアキュラシー競技、ディスタンス競技にそれぞれあるので注意する。